

Pacific seminar

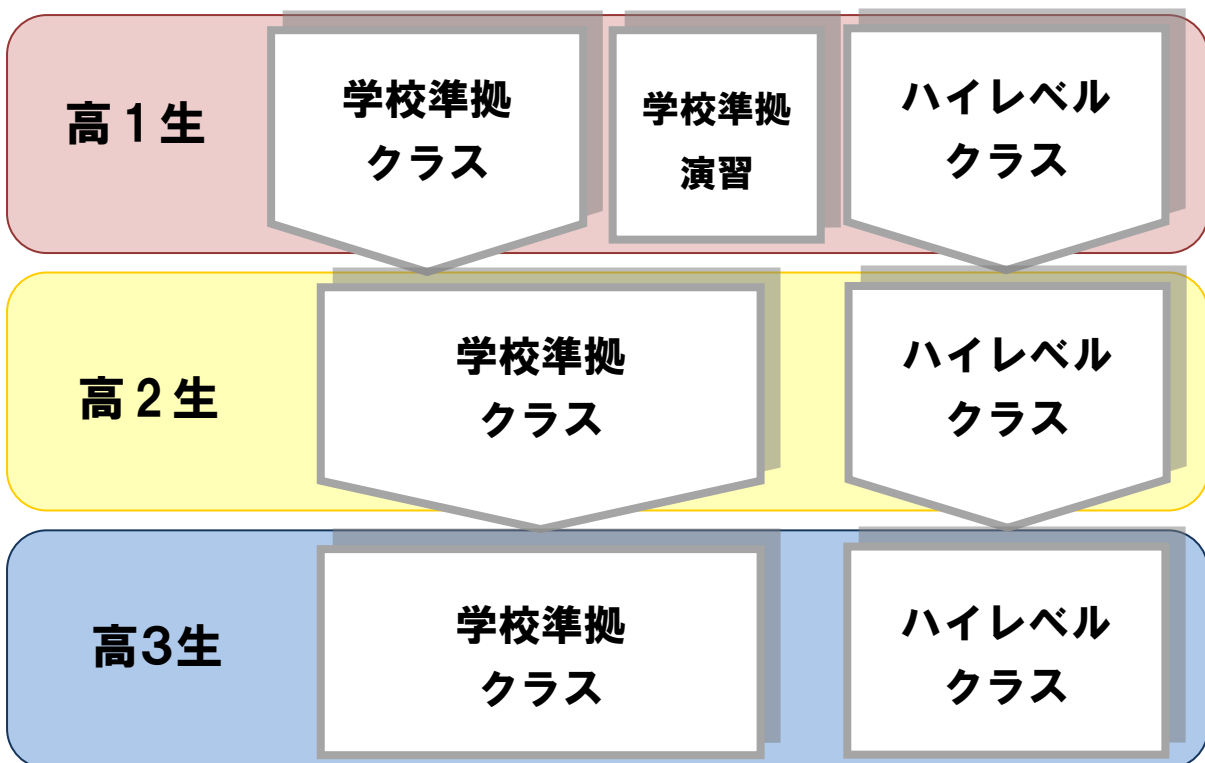
高校講座案内

【高校2年生講座の案内】

南山高校英語講座	_____	1
南山高校数学講座	_____	3
南山高校理科講座	_____	5

南山高校英語講座

パシフィックゼミナールでは、学校の授業カリキュラムに沿って授業を進め定期考査対策や受験勉強の基礎固めを行う「**学校準拠クラス**」を開講します。また、学校の進度よりさらに進んだ発展的な内容を扱い、英検ではひとつ上の級を受験では難関大学合格を目指す「**大学受験クラス**」を開講します。



南山高校2年生 英語講座

学校準拠クラス

内容： 高2学校準拠クラスでは、学校で使う教科書、授業プリントをメインで扱い、予習形式で授業を進めていきます。またこれまでと同じように、定期テスト前には直前対策を実施することで、テスト範囲の内容の再確認を行います。学校で習う内容は、きちんと知識を定着していくことができれば、大学受験の基礎力となります。また、指定校推薦での受験を視野に入れると、今後学校の調査書の内容がますます重要になってきます。このクラスでは学校の授業内容の学習を進めながら、実力テスト、そして大学受験へと繋がる力を身につけていくことを目標とします。

(※定期考査の点数や授業の理解度でレベル別のクラス分けを行う予定です。)

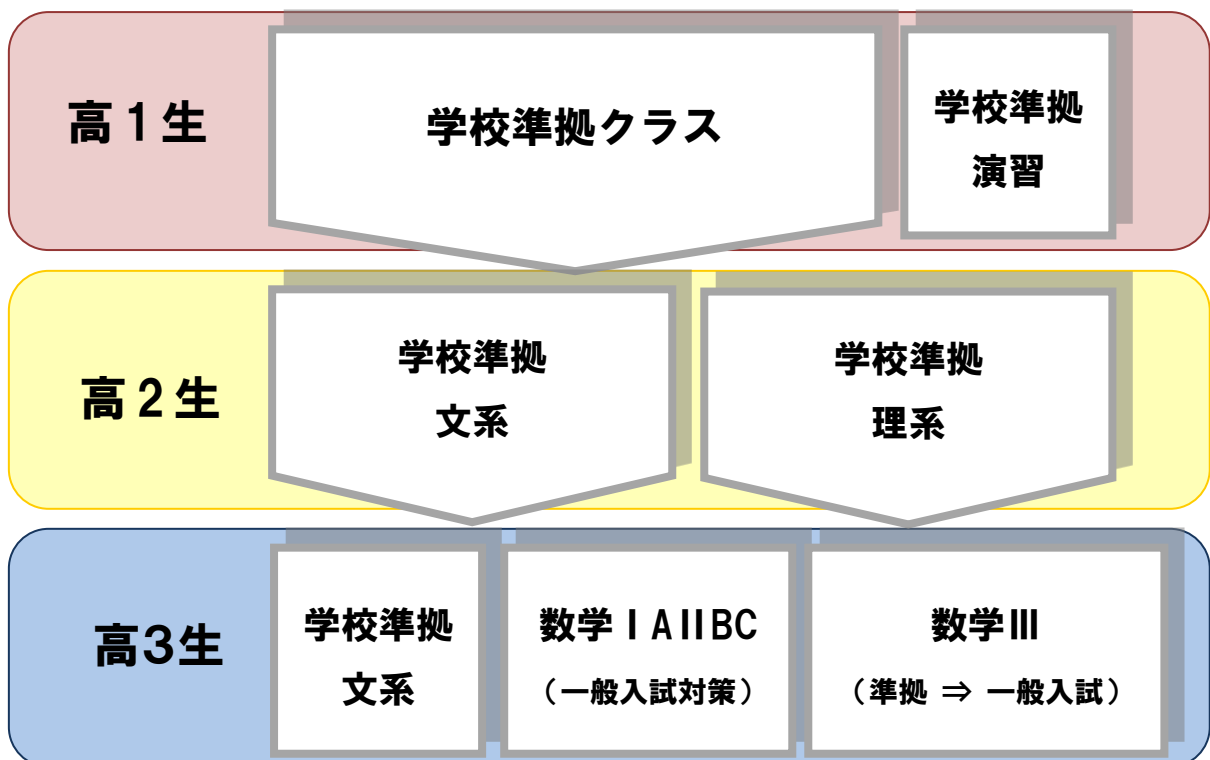
ハイレベルクラス

内容： ハイレベルクラスでは、学校の教科書内容から少し離れて、大学受験を見据えた単語・文法・長文の発展学習を行います。特に長文読解や英作文など、準拠クラスではなかなか時間の取れない応用問題にも力を入れていきます。定期考査に出題される初見の実力問題の割合は、学年が上がるほど大きくなります。高得点を取るためには、実力問題対策としてプラス α の勉強が不可欠となってきます。また高2、高3の学習を前倒して進めることは、英検などの外部試験の対策としても有効です。このクラスは、1年後の講座終了時に大学共通テストの問題が解けるようになるレベルを目標としています。英語が得意で受験でも得点源にしていきたいと考えている方はぜひチャレンジしてください。

(※このクラスは大学受験の基礎となる単語・文法の知識が定着している生徒を対象とします。)

南山高校数学講座

大学入試は高校で学習した内容が全て試験範囲となります。したがって定期テストの範囲にとどまらない学習が必要です。しかし、学校の授業進度を無視した学習は効率が良いとはいえません。近年の推薦入学者数の増加を考えると、学校の成績も意識しながらの学習が志望校の選択の幅を広げることとなります。また、学校で学習している内容がそのまま受験勉強の土台となります。そこで数学講座では「学校の授業サポート」と「入試対策」ができるクラスを開講します。



南山高校 2 年生 数学講座

学校準抛理系クラス

内容：定期考査の成績を上げることを目的とし、学校の授業進度に合わせ授業を展開します。また定期考査の対策を通して受験に必要な基礎力を養成します。高 2 から学習が始まる数学Ⅲは教科書レベルの内容が既に難しく、各問題を解くのに必要な計算量もこれまでよりはるかに多くなります。また数学ⅠAⅡBで学習した内容の発展的な内容となるので、既習の関数全般や数列の知識は必須となります。理系数学クラスではその単元を学習するために必要な既習範囲の復習、基礎の解説～応用問題を学校の進度に合わせて学習します。授業内・宿題で演習量も多くとり入試に必要な基礎力の定着を目指します。

学校準抛文系クラス

内容：定期考査の成績を上げることを目的としたクラスで、学校の授業進度に合わせ授業を展開します。また定期考査の対策を通して受験に必要な基礎力を養成します。文系の数学では数学ⅡBの微分法・積分法、数列などを学習します。計算量も多く大変ですが、典型的なパターン問題も多くあり勉強次第で点数にむつびつけやすい単元でもあります。文系数学クラスでは基礎の解説から解法パターンの習得、またそれらを用いた応用問題まで扱います。授業内・宿題で演習量も多くとり入れ入試に必要な基礎力の定着を目指します。

南山高校理科講座

高校理科講座では高1、高2では学校の授業対応の学校準拠クラス、高3は学校で新しい単元を学習する1学期まで学校準拠クラスを、夏期講習以降は入試対策のクラスを開講致します。

高1生

学校準拠クラス（物理基礎・化学基礎）

高2生

**学校準拠クラス
物理**

**学校準拠クラス
化学**

高3生

**物理クラス
（準拠 ⇒ 一般入試）**

**化学クラス
（準拠 ⇒ 一般入試）**

南山高校 2 年生 理科講座

学校準拠クラス物理

内容：高 2 から学習する「物理」では、物理基礎の学習内容をもとに、「力学・波動・電磁気・原子」の各分野で、物理分野の発展的な内容を扱います。また、三角関数・微積分ベクトルを使った説明が登場し、計算量も非常に多くなるので、数学の計算力の向上が重要となります。物理クラスでは、各単元で学習する複雑な現象を分かりやすく解説し、質疑応答を通して、公式の暗記・適用だけではない本質的な理解を深めます。また授業内に問題演習の時間を多くとり、複雑な問題も自力で解けるように、計算力の向上も目指します。

学校準拠クラス化学

内容：高 2 初めは高 1 に引き続き計算問題が中心となる理論分野を学習するので、問題演習と解説を行います。その後、暗記中心の無機分野になるので、暗記内容の宿題プリントを用いて確認テストを行い知識の定着を図っていきます。また、3 学期ごろから高 3 にかけて有機分野を学習していきます。出題内容が広く、暗記や計算も多い受験で最も重要な分野ですので、基本事項をしっかりと抑え 3 年生に繋がるよう解説や演習を丁寧に行っていきます。



パシフィックゼミナール枳中

Dreams, fuel for life

〒466-0833

名古屋市昭和区隼人町 7-8 枳中駅ビル 3F

Tel : 052-835-4436

E-mail : pacificseminar@dune.ocn.ne.jp

HP : <http://www.pacificseminar.jp/>